

腎臓内科

Department of Nephrology

2018年度 新専門医制度 研修プログラム到達目標

ハイレベルの臨床と
国際的な活躍の素地を磨けるよう研鑽を積む



プログラム責任者：日ノ下文彦
(腎臓内科科長)

連絡先：fhinoshi@hosp.ncgm.go.jp



診療科の概要

腎臓内科 Department of Nephrology

- あらゆる腎疾患、高血圧、透析・血液浄化法に対する理解を深め、専門的な診断法・治療法を修得してハイレベルの診療を実施できるようにする。
- 腎臓学会、透析医学会、内科学会など各学会認定資格も取得できるように指導する。
- 臨床で遭遇する問題を足がかりに研究心を高め、学会発表、臨床研究に邁進できるように指導する。
- 臨床現場や腎臓学領域で客観的かつ学問的に物事を考え、将来、先進的医療や研究を遂行しうる能力を育成する。
- 原則として内科専門医取得を目標としているため、修了に必要な症例数が足りない場合、その充足を目的とした他の内科系ローテーションも必要に応じて行う。

SHORT ローターション到達目標

腎臓内科 Department of Nephrology

3
months

腎臓内科の入院患者診療を学ぶ。

慢性腎不全、急性腎不全、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ、高血圧、糖尿病性腎症、水電解質代謝異常、尿路感染症を幅広く担当する。

4.5
months

入院患者診療に加えて、透析・血液浄化療法を学ぶ。

他科からのコンサルテーション症例や初診外来も担当する。

6
months

腎臓内科入院患者、初診外来患者、透析・血液浄化療法患者、他科からのコンサルテーション症例について自らアセスメントすることができる。

LONG ローターション重点研修 1年型 到達目標

腎臓内科 Department of Nephrology

- 腎臓内科病棟担当医として、様々な腎疾患や高血圧、水・電解質代謝異常の病態を理解し、其々に対するアセスメントとプランを立てることができる。
- 急性腎不全や慢性腎不全に対する透析、ICU/救急病棟におけるCHDFを実践し、他の急性血液浄化療法についても学ぶ。
- 他科からのコンサルテーション症例や救急患者症例を通じて、急性期病院における腎臓疾患のアセスメントとプランを身につける。
- 臨床を研修しながら、疑問点や学術的な問題点を提起し解決の糸口を見つけるプロセスを学ぶ。
- 初期研修医が十分な資質を備えた医師として成長していくための指導能力を培っていく。

LONG ローターション重点研修 2年型 到達目標

腎臓内科 Department of Nephrology

重点研修1年型に加えて、以下の目標が加わる。

- 腎臓内科の定期外来を研修することで、多様な腎疾患に対する外来でのマネジメント能力を身につける。
- 急性腎疾患や難しい病態についても、単独で判断し適正な治療を選択できるようにする。
- 腎臓内科症例の診断・治療について、初期研修医に対しきちんと指導を行うことができる。
- 腎臓学に関する臨床的・基礎的テーマを見つけて臨床研究や国内外を含めた学会発表に携わり、症例報告を含め年に一つ以上の学術的な文献作成を目標とする。



研修終了後の進路

腎臓内科 Department of Nephrology



- 修了者の多くが、腎臓内科学会専門医・透析医学会専門医を取得している。
- 修了後、当センターでフェローとして診療を継続、大学院進学、他の市中病院に勤務、大学の医局員として大学病院に勤務など様々な実績（進路）があり、それぞれの希望に沿った道が開けている。

